

194名が参集、今年も大盛会の関東同窓会

7月8日、弘済会館で

第三十一回 静中・静高関東同窓会

総会・懇親会が開催されました

総務担当副会長 野方重人(77期)

本年度総会・懇親会が七月八日(金)、千代田区麹町のJR四谷駅近くにある「弘済会館」で200名近い同窓会員およびその家族、友人等が集い、午後六時から三時間に亘って今年も例年を凌ぐ盛大さで開催されました。

本年の担当幹事は83期の皆さんで、まとめ役の西野直樹氏、久野淑子氏、中村豊氏を中心に団結し、一年間にわたって熱意をもって準備に当たってこられた結果、多くの会員の参加を見ることができ、盛り上がりの大きい会とすることができました。

総会は就任して九一年の59期清水汪会長の挨拶、校歌斉唱で始まり、続いて77期野方重人副会長を議長に選任して、同議長のもとで議事に入り、まず67期の児島英男副会長から昨年度事業および決算報告がなされ、これにつき74期の松下晴一、89期の鳥巢修両監事から監査報告がなされ、続いて児島副会長から本年度事業計画と予算を提案され、それぞれの案件が総会において承認されました。(決算報告と予算案は次ページに掲載)

議事終了後、心療内科医師の88期・姫野友美さんの講演に入り、「歳をとっても脳細胞は増える」と題して脳と心の働きについて、同氏の永年の研究成果を関係図等を示しながら素人にも解り易くお話しいただきました。講演内容の詳細は別稿のとおりですが、会場には高齢の会員の方も多く、みな切実な思いで最後まで聞き入りました。

引き続き別室で懇親会が開催され、来賓としてお迎えした母校の清水哲教頭先生による母校における現在の教育について興味深いご報告をいただき、同窓会本部の櫻井一男会長、関西支部の柴田尚会長の心温まるご挨拶をいただいたのち、関東同窓会最年長の51期・原崎郁平氏の元氣一杯な乾杯の発声で一挙に懇親の輪が広がっていききました。

懇親会の進行は83期の中村氏と久野氏の息の合ったコンビが担当、始めから終わりまで心配り豊かな司会でした。また母校の応援歌の大合唱で楽しみ、故郷から取り寄せた黒はんぺんや山葵漬に舌鼓を打ちながら、先輩・後輩、同期生の交歓の輪が随所で大きく広がり、老いも若きも故郷を想い、母校を想いながら同一体となって楽しんだ、かけがえのないひと時でした。

来年は幹事として84期の方々に担当していただきますが、お忙しい中よろしくお願いいたします。

来年(平成十八)の総会は七月七日(金)に開催予定!

静中・静高 関東同窓会 会報

静中・静高関東同窓会
会報 第60号
平成17年12月30日発行
編集人 村松貴彦



村田吉隆防炎大臣(79期)も出席

静中・静高関東同窓会 平成16年度収支決算報告書

報告者・児島副会長

自平成16年4月1日～至平成17年3月31日

(収入の部)					(単位：円)
科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要	
年 会 費	1,800,000	1,687,000	△ 113,000	558名	
総 会 懇 親 会 費		579,000	579,000	193名×3000円	
会 報 広 告 料	200,000	210,000	10,000	11社	
本 部 助 成 金	800,000	800,000	0		
受 け 取 り 利 息		38	38		
そ の 他		20,000	20,000	本部より祝い金	
計	2,800,000	3,296,038	496,038		
前 年 度 繰 越 金	5,459,991	5,459,991	0		
合 計	8,259,991	8,756,029	496,038		
(支出の部)					
総 会 費	500,000	1,062,867	562,867		
会 場 費		181,907			
懇 親 会 費		751,391			
通 信 費		23,070			
雑 費		106,499			
会 報 発 行 費	1,600,000	1,492,430	△ 107,570	年2回 6,600部	
印 刷 費		789,524			
通 信 運 搬 費		512,437		会報送付料	
編 集 費		190,469			
理 事 会 役 員 会 費	400,000	359,367	△ 40,633		
幹 事 会 費	200,000	125,500	△ 74,500		
旅 費 交 通 費	200,000	66,020	△ 133,980	本部中部支部総会	
通 信 費 振 込 米 費		58,100	58,100		
事 務 費	240,000	144,659	△ 95,341		
雑 費	80,000	1,16,660	36,660		
名 簿 整 理 費	70,000	0	△ 70,000		
事 務 用 品 費	150,000	132,762	△ 17,238	ノートパソコン11万	
計	3,440,000	3,553,365	113,365	印章代其の他	
繰 越 金	4,819,991	5,202,664	382,673		
合 計	8,259,991	8,756,029	496,038		

平成17年度 予 算 書

自平成17年4月1日～至平成18年3月31日

(収入の部)					
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	摘 要	
年 会 費	1,800,000	1,800,000	0	600名×3000円	
総 会 懇 親 会 費	600,000		600,000	200名×3000円	
会 報 広 告 料	200,000	200,000	0	10社×20,000円	
本 部 助 成 金	800,000	800,000	0		
受 け 取 り 利 息					
計	3,400,000	2,800,000	600,000		
前 年 度 繰 越 金	5,202,664	5,459,991	△ 257,327		
収 入 合 計	8,602,664	8,259,991	342,673		
(支出の部)					
総 会 費	930,000	500,000	430,000	200名	
会 場 費	100,000				
懇 親 会 費	700,000				
通 信 費	25,000				
雑 費	105,000				
会 報 発 行 費	1,500,000	1,600,000	△ 100,000	年 2 回 6,600部	
印 刷 費	800,000				
通 信 運 搬 費	500,000			会報送付料	
編 集 費	200,000				
理 事 会 役 員 会 費	400,000	400,000	0		
幹 事 会 費	200,000	200,000	0		
旅 費 交 通 費	200,000	200,000	0	本部支部総会出席	
通 信 費 手 数 料	70,000		70,000	振込手数料その他	
事 務 費	240,000	240,000	0	事務所費その他	
名 簿 整 理 費	100,000	70,000	30,000	宛名ラベル作成費他	
事 務 用 品 費	50,000	150,000	△ 100,000		
慶 弔 費 雑 費	80,000	80,000	0	本部支部祝金その他	
計	3,770,000	3,440,000	330,000		
次 期 繰 越 金	4,832,664	4,819,991	12,673		
合 計	8,602,664	8,259,991	342,673		

静岡の万葉を歩く

(三十二)

51期 原崎 郁平

浜北市宮口三一九― 八幡神社境内に次の万葉歌碑が立っている。

わが妻は いたく恋ひらし

飲む水に

影さえ見えて

世に忘れられず

巻二十・四三三二



平成二年八月三十日建立

建立者 浜北市教育委員会

揮毫者 犬養孝(国文学者)

寸法は高さ百五十センチ、

幅二百三十センチの自然石に

縦六十センチ、横七十五センチ

の黒御影石が嵌め込まれ本文が

刻んである。

そして左傍らに副碑(縦九十

五センチ 横五十

五センチ)が立っ

ている。

歌碑の所在地は

天竜浜名湖鉄道、

宮口駅の南西徒歩

三分の所にある。

歌碑の裏に次の

文章が刻んである。

「万葉集の巻二十

には、大伴家持が

難波津に集結した

東国の防人から集

めた歌が収録され

ている。この中に

鹿玉郡(あらたま)

の若倭部身麻呂の

歌がある。『私の

妻は、ひどく私を

恋慕しているら

しい。飲む水に妻の面影さえ映っ

てきてどうしても忘れることが

できない」との大意であり、今

から千二百年前、この地に住ん

でいた身麻呂が兵士として九州

へおもむく折の、ひたすら妻を

思う歌である。平成二年八月建

立 浜北市・浜北市教育委員会

万葉歌揮毫者 大阪大学名誉

教授 犬養 孝」

この地の近くの秋葉神社の鳥

居を立てる際に關して次のよう

な民話が残っている。三州岡崎

の二人の石工が文政五年(一八

二二)に鳥居に使う石を舟に載

せて浜名湖を渡り陸揚げして三

方原を綱で曳いて運んだ。この

行く手に評判の強欲な老婆が住

んでいたが、曳いてきた石が偶々

老婆の畑に踏み込んでしまった。

老婆は烈火の如くに怒り通過を

断ったので石は動かせない。運

搬する人夫は困り果ててしまっ

たところに守護神が現れ老婆の

家の障子を焼き払ったので、老

婆は恐れおののき平伏して見送

り難なく曳き抜けたので無事に

鳥居が建設された。

☆静岡中・静岡高関東同窓会は会

員の拠出金で運営しており

ます。

一年間30000円です。

よろしく協力ください。

第三十回叩高会ゴルフ会

近さがとりえ、都心にある
ゴルフ場で行っている

77期 清水 雅尚

「このゴルフ場だから参加で

きるんです。自宅から三十分も

かからず来ることができますか

ら」と、普段ご主人の介護ベッ

たりの生活から唯一はなれてプ

レーを楽しめるといふ荒谷じつ

子さん(68期)。叩高会ゴルフ

会唯一の紅一点の女子ゴルファ

以前はゴルフだけでなく、同窓

会活動そのものに積極的に参画

大の男たちをあごで使っていた

存在感ある女性。

自宅が小田急線経堂にあり、

新宿から三十分ほどで行ける川

崎国際生田緑地ゴルフ場はご主

人をヘルパーに預けて行けるぎ

りぎりの境界線のようなうだ。

とはいえプレーは楽しく、明

るい荒谷さん、久しぶりのプレー

とはいえ真剣に、さらに細かい

パットは慎重にしていた。

「何度もこのコースはプレー

していますが、砲台グリーンは

難しい。また今日の芝は早かつ

たです」と荒谷さん。

さらに前同窓会長の上杉重吉

さん(60期)も久しぶりに参加



くんだり、初冬の十一月二十一
日、やや風があったものの快晴
のもと楽しんだ。

今回の参加者は十三名。結果

は左記の通り。

優勝 矢沢正美(特別参加)

準優勝 山中博司(73期)

三位 望月 智(73期)

矢沢さんは特別ゲストで、4

組は確保したため特別に参加

いただきました。

なお前回の六月に行った二十

九回大会の優勝者は実石欣哉さ

ん(71期)でした。

ところで叩高会ゴルフ会は年

に二回開催しております。最近

出席者が不足気味です。でも楽

しく和気藹々でのプレーを心が

けていますので是非お誘い合わ

せて参加ください。次回は来年

六月を予定しています。

静中・静高関東同窓会 第31回総会 記念講演

姫野 友美さん（心療内科医師 88期）

講演概要 「歳をとっても、脳細胞は増える」

脳科学が証明する今より3倍元気になる方法

脳の中が変わるとからだが変わり、それがまた脳の中を変え、心を変え、からだをさらに変え、ついにはその人の運命を変えて行く。」という人間の健康と幸せのあり方です。

そこで、まず脳のお話です。

かつては「脳細胞は、人間が生まれてから死ぬ一方で、大脳では1日に10万〜20万個も死んでいる。」というのが定説でした。だから「生きるというのは緩やかな脳死のようなものだ。」とも。

しかし、1998年に成人の脳の「海馬」という部分で脳神経細胞（ニューロン）が新しく生まれ、増加していることが発見され、その後次々とそれを実証する実験結果が出ています。そこで分かってきたことは、

「大人、老人になっても環境によって脳ニューロンは発達し、刺激が多いと情報伝達のためにシナプス（接合部）を作って伝達回路を伸ばして行く。新しく増加するニューロンは記憶伝達量を増減する働きがあり、記憶力・思考力・発想力・適応力を高め、嫌な記憶は消し、ストレスを押さえる力を持っている。」ということでした。ストレスも快感もそれを感じさせるのは、実は脳内に分泌される「神経伝達物質」によります。快感をもたらす脳内神経伝達物質には「ワクワク・ドキドキ（興奮）」のドーパミン、「ほのぼの気分」のセトロン、「やる気満々」のノルアドレナリン、「ハッピー気分」のβエンドルフィンなどがあります。新しい脳ニューロンの中ではこれらの物質が盛んに伝達されています。

うつ病は「こんなことでくじけるものか」という強い性格の人がなりやすい

ここで、「幸せのループ」のサイクルを図で示してみます。脳に入る情報はほとんどが「海馬」の部分で処理されます。外界に敏感な「海馬」が刺激を好ましい興味ある情報として受け取れば、新しい脳ニューロンが増え、伝達の過程で快感物質が分泌され、脳内ニューロンは活発に運

動し、記憶力・思考力・発想力などの能力が育ち、幸せ感覚を増幅して他人に優しくできるようになり、ますます脳（＝自分）にとって親しく、刺激を受け入れられる環境になっていきます。こういうプロセスをストップさせがちなのがストレスです。ストレスが重なり逆方向に追い詰められるとうつ病になります。

実は、うつ病は疾病の中で風邪などの感染症の次に身近な病気です。男性は10%、女性は25%の確率で罹患する可能性があります。とくに女性の方は身近な病気と考えて、ちよつと何かを感じたら、気軽に心療内科を訪ねて頂きたいと思えます。うつ病になる方は心が弱い方と思いがちですが、基本的に「こんなことでくじけるもんか。」という強い性格の方がなりやすいんです。そういった方の心が脳内

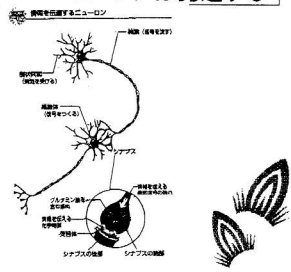


私の息子はまだ小学生ですが、野球が好きで「僕は高校では甲子園に出て、プロ野球に入り、最終的にはアメリカメジャーリーグで活躍したい。」と言って今から英語を勉強しております。しかし、東京の高校野球は激戦区でして、甲子園大会の予選突破は至難の道なのです。そこで私は、息子に「よし、決めた。君は静高に行きなさい。3年間できっと1度は甲子園にいけるから。」と言ってやりました。最初は「えっ、シズコウ？なに、それ？」と言っておりましたが、その後、いろいろと調べたらしく、「そうだね。確かに甲子園によく行くチームみたいだ。」などと言い、勉強より野球に力をいれて、未来の静高野球部のレギュラーを目指しております。

さて、我が家の高校野球のお話から、スクリーンにでましたのは、ゴジラ松井の勇姿です。松井選手がメジャーリーグの名門ヤンキースで大活躍し、その記事が新聞やテレビに載りますが、松井選手がよく話すことの中に「心の語録」という「座右の銘」といいますか、自分を導く方法、信条としての語録があります。画面に出しました「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」という言葉です。

この言葉は松井選手の星陵高校野球部時代の監督でいらした山田さんの訓えなのですが、松井選手は選手生活での怪我やスランプをこの訓えを心の中で念じながら、次々と乗り越えてきたそうです。ここで注目して頂きたいのは最初と最後のフレーズで、つまり「心が変われば、運命が変わる」のです。きょうの私の講演で知って頂きたいことは、「心が変わるといふことは脳の中が変わるといふこと。」

大人になっても環境によってニューロンは発達する



大人になっても環境によってニューロンは発達する

脳の中核はニューロンが100億個以上

ニューロンに対する刺激が増えると情報伝達のためにシナプスを増やす

刺激がない状況が長く続くとシナプスが退化して情報伝達が悪くなる

常に刺激を与えることが必要





でブツン状態になったのがうつ病なんです。その方の脳内を見ますと脳ニューロンの伝達接合部（シナプス）の中の伝達物質セトロン等が激減しており、脳細胞間の伝達が失調していることがわかります。その治療に先ほど挙げました快感物質の投与が有効になるのです。人間はもともとハッピーになること（＝快感）を求める動物です。ほのぼの気分を起こさせる物質で脳内に活力を取り戻させ「心の治療から明るい未来へ進む」ようにすることが「心が変われば運命が変わる」ことに通じて来ます。この辺のことは私の「だいたいようぶ、そんなにがんばらなくても！」（青春出版社）という本に詳しく書きました。興味のある方は読んでみて下さい。

では、こんなに大事な脳内の新生ニューロンや脳内物質はどうしたら増えるのでしょうか。食事や運動、休養や睡眠、そして生きがいなどどれも大切な関係があります。例えば、食事の関係では、朝食を取ること、よく噛むこと、肉も魚も必要、特に納豆や黒酢が脳や血流、からだ全体によく、食物繊維も快便を通して大切です。また、おいしい料理は快感物質ドーパミンを分泌し、わくわくさせてくれます。ダイエットはその逆の傾向を持ち、やりすぎるとうつになりますから用心しましょう。

仕事は楽しく、遊びは真剣にやりましょう

運動で言えば、ウォーキングは老化をふせぎ、セトロンを

増加させます。日光浴や深呼吸、ヨガや大極拳、水泳やストレッチなどゆっくりとやることで効果があります。また本の音読はとても脳を活性化させます。私達の後輩、斉藤孝さんの「声に出して読みたい日本語」というベストセラーにいいことがたくさん書いてあります。ぜひ読んでみて下さい。そして休養です。休んで笑う、お風呂やマッサージ、音楽、料理、遊びなど休日の休養をしっかりとる。私の一番の遊びは、欽ちゃんのTV番組「全日本仮装大賞」への参加で、本選11回の出場記録を持っているんですよ。「仕事は楽しく、遊びは真剣に。」が、遊びのコツです。

もともと戻しまして睡眠は脳にとって極めて大事で、不眠は脳にダメージを与えます。「寝ないでやる。」などというのは愚の骨頂です。一晩眠らないと海馬ニューロンの働き（可塑性）が0になります。寝ている間に脳への栄養が行き渡り、新生ニューロンが増えるのです。だから、眠ると記憶は定着し、問題の解決が見えてきます。昼寝の30分も脳をリフレッシュさせます。楽しいことを思い浮かべながら眠る間に脳は若返ってくるのです。さらに重要なのは、生きがいを持つ事です。夢や目標を持つと脳ニューロンは発達します。

使命感はやる気を生み出し、失敗しても前向きなら脳は学習し、活性を持続させます。恋をしておしゃれになって、他人をほめたり、優しくすることは、自分に返ってきて自分も嬉しくなります。これは共感すること。ニューロンを成長させるからです。「恋をすること」で出てくる性ホルモンが脳内に入り、脳の栄養因子を増やして新生ニューロンを増加させ、動脈硬化も防ぐようになります。

静高のように男女共学も良いことで、共学の男女の脳ニューロンはよく育っているはずで、学力も向上すると思います。まあ、お互いが気になって、という集中に欠ける点はあるそうですが、差引きプラスになっているかどうかはわかりませんが、脳の環境としてはいいのです。

最初に見た松井選手の「心が変われば運命が変わる。」というお話は、「脳をよく動かし、刺激を柔軟に受け止め、喜びに変え、運動をし、休養をとって、恋をしたり、目標を持って暮らして行けば、脳も心も元気に長生きして、死ぬときが一番元気」というふうに変えることができます。これもいいですね。

（講演概要のまとめ
西野直樹・83期）

静中・静高関東同窓会ではホームページを開いています。

記事は適宜新しいものに差し替えています。静高または静岡ゆかりの人たちの公演会、個展なども案内していることがあります。どうぞご覧ください。

アドレスは <http://kanto.shizuko.cc/>

また、ここから本校にリンクでき、静岡高等学校のホームページも覗くことができます。本校のホームページでは静岡静高同窓会というページもあり、同窓会からのお知らせとして静岡高校はいま……

静岡生の部活動

☆文化部でギター部、工学部、将棋部、美術部……

☆運動部で男子バレー部、卓球部、男子テニス部……などを活動具合や予定などを掲載しています。こちらも記事内容は適宜差し替え最新情報を提供しますと事務局、多くの会員の利用をお願いします。

*姫野友美さんのプロフィール

東京医科歯科大卒、日本テレビ系・みのんたの昼のTV番組「思いっきりテレビ」やテレビ東京系「レディス4」などに出演中。「ひめの友美クリニック」院長、女性のための生涯医療センター「主宰。欽ちゃんのTV番組「全日本仮装大賞」へ積極的に参加、本選11回の記録を持っている。静岡横内小、東中から静岡高。在学生は女子バレーボール主将として活躍。バレー部は一年中屋外でプレーしていたので、小麦色の肌と大きな瞳、真っ白な歯がチャームिंगな健康美あふれる才女でした。

（88期・金森文孝）

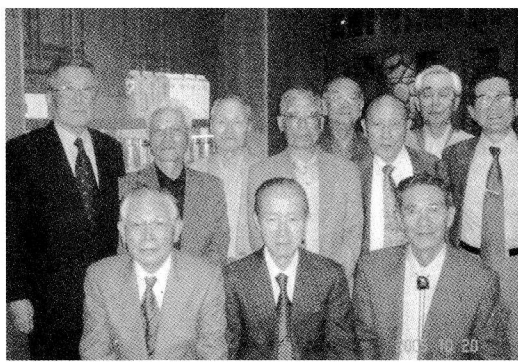
重慶都市モノレール開業と 国際シンポジウム

59期 関東同期会

朝比奈 正二

恒例の秋期同期会を快晴に恵まれた十月二十日（木）午後一時より八重洲の「北海道」で例年通り開催した。

この会は毎年二回、四月と十月の何れも第三木曜日に開催することになっているもの。会は朝比奈の開会の挨拶に続いて、清水汪君の音頭で乾杯、懇談に入った。今回の出席者は前回と同様の十二名で、各々の近況から静中時代の恩師、部活動へと話がはずみ時間をオーバーすることになった。終わりに若き日を偲びつつ校歌を斉唱、来年四



月の同期会での再会を約し、別れを惜しみつつ散会した。

写真は、前列左より田沢義彦、清水汪、朝比奈正二、後列左より小花敏郎、長谷川邦三、瀬端一男、内田武二、水野哲也、菅原操、狩野和男、青山勇。なお青木豊君は終戦時の海軍三校の最上級生有志で構成される絵画・彫刻・陶芸の「いちご会」が開催中で、これに出席のため早退、写真には入っていない。

また席上菅原操君に「重慶都市モノレール開業と国際シンポジウム」に就いて説明をお願いしたので、その要約と菅原君の略歴を紹介することにする。

『去る六月十八日、中国政府、重慶市の主催する重慶都市モノレール開業式典が開催され、日本から国土交通省の岩村事務次官が参加、日本モノレール協会からは二階直哉氏（二階俊博会長の代理）と、長年に亘って重慶モノレール整備の指導的役割を果たしてきた菅原操副会長が出席、開業をお祝いした。』

重慶モノレールは一九九二年の国際協力事業団による調査、一九九七年の海外経済協力基金の調査を経て、日本政府から二七・一億円の円借款が供与されて整備された事業であり、現在まで十四・三キロの整備が行われている。

なおモノレール技術の全面的

な紹介と交流を行い、今後中国国内の各都市は勿論、世界各地にモノレールの普及を図ることを目的として、七月二十一日、二十二日の両日、重慶市に於いて、約五千人の参加のもと「中国重慶都市モノレール国際シンポジウム」が開催された。このシンポジウムにおいて、日本から六名、中国から六名の講演が行われたが、その一人として、菅原操君も発表をしている。以上の如く、中国大陸への軌道系の初のシステム輸出を立派に成功させた功績は大きい』



菅原操君の略歴

静岡中学校59期生で一九四九年東京大学を卒業し運輸省入省、その後国鉄に勤務し、施設局長、常務理事、北海道総局長を勤めた。後半生は鉄道の海外協力を進め、イラン新幹線、台湾高速鉄道などを計画、また多くの国の都市交通について技術協力を行った。この間東京工業大学及び東



京理科大学の教授も勤めた。中国重慶の都市モノレールについては、十五年間継続してその実現を支援し、二〇〇五年六月の開業を迎え、引き続き専門家チームのリーダーとして活躍している。

▽ストライク・ボール△

母校、静岡野球部の後援会

現在母校静岡高校では、野球部後援会があり、77期会員が中心になって活動しています。野球部を物心両面から援助しようというもので、年間一万元以上ご寄付いただける会員を募っています。

昨年、前任者の田宮俊作さんから引きついだもので関東の会員の皆様の協力もお願いしますとのこと。

「何年後援会のことができるか分かりませんが、どうせ引き受けたからには、甲子園に出るだけでなく、大正十五年以来の全国制覇をめざしたい」と会長に就任した川村修。事務局はシヤンソン化粧品(株)内にあり、常木明（77期）が事務局を担当している。

本部 便り

平成十七年度静中・静岡同窓会総会、講演、懇親会が十一月五日、静岡駅北口のホテルアソシア静岡ターミナルで開催されました。参加者は例年とほぼ同じ600名。かたどおりの議事が進行し、今年の講演として、84期の堀川徹、京都外国語学部教授の「21世紀とイスラーム」が現状を踏まえた格調高い話で語られた。聴衆は西南アジアのイスラーム社会にほとんど無知なため、静かに聞き入っていた。関東支部から清水汪会長が出席、本部同窓会長と懇談を深めていた。「さすがに本部の総会だけに規模と仕掛けが豪華、関東でも見習うところがある」と。校歌を4番まで歌ったが、スクリーンに大きく映し出された歌詞に納得顔だった。



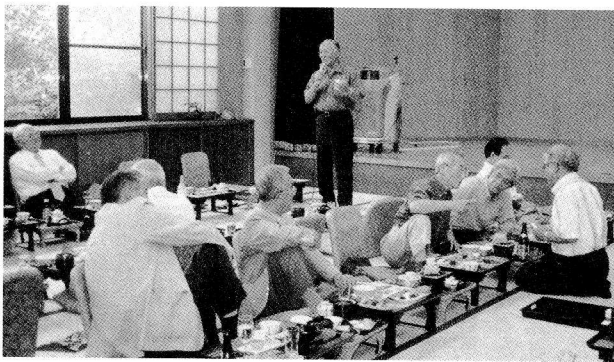
小新の「江ノ島会」

席亭 71期 浦田 彰

♪ 出囃 賑やかにー

毎度賑々しくお運びいただき、
ありがたい事でございます。

なんですな、人間年をとりま
すっていうと、だんだん孤独に
なります。仕事仲間が去り、子
どもが去り、つれあいが去り……
そしてわが身も……。そこで若
い頃、同じ釜の飯を食った気の
置けない仲間との付き合いが何
よりの楽しみ、オレ、オマエで
遠慮なくやれます。いいもので
すな。



熊

オヤ、そこを通るのは横
丁のご隠居じゃないです
か。イヤにめかして……
わかった！二丁目のお師
匠さんのトコでしょ。こ
の暑いのに昼間から……
ご隠居もスミにおけない
ねエ。

隠居

何いつてんだい。熊さん。
そんなじゃないよ。きょ
うは年に一度の命の洗濯
日、「江ノ島会」ってわ
けさ。

熊

隠居

何です、その「江ノ島会」
っていうのは？ また集
まって悪さするんでしょ。
ケチなオイチョカブとか
下手な賭碁とか……。
ちがう、ちがう。「江ノ
島会」というのはアタシ
の若い頃の高校仲間が年
に一度、九月の第一日曜
日に江ノ島の恵比寿屋
で旅館に集まって、旧交
を暖め、久闊を叙すって
いうわけ。もう五十九年
も続いてやっているのさ。
へえー、キュウコーにキュ
カツ……、急行に乗って
牛カツを食うのかと思っ
たよ。

熊

でも、何だね、ご隠居、
いい年してアチコチ出歩
けるのも達者なうちだね。
それに、小遣いもマアマ

隠居

アのご様子だし……。
ウン、今のところはね。
でももうじき年金がへら
されそうじゃないか。医
療費も上がるし。この前
の選挙じゃ、ユーセイだ、
ユーセイだの純ちゃんが
バカ勝ちして、ネンキン
だ、ネンキンだの岡ちゃ
んがメチャ負けで……、
見通し暗いよ、熊さん、
しっかり国民年金払って
ね。

熊

隠居

払ってますよ、ご隠居さ
んのためにも。でもご隠
居は幸せだよ、お国が面
倒見なくとも、しっかり
者の息子さんが元気で、
後顧の憂いなしでしょ。
息子さんも静高のそつぎ
うで？

熊

そうです！ 親子二代、
岳南健児。名誉ある静高
の卒業生です。
これがホントの印高息子
だ。

へい、お後がよろしいようで
……。

席亭謹白

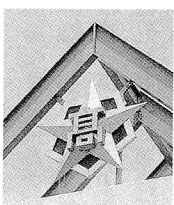
というわけで、ご隠居は意気
揚々と「江ノ島会」に出かけま
した。今年は九月四日、処はい

つもの恵比寿屋さん。

集まった同窓生は四十七人。

客人として母校から副校長の杉
本淳光先生、本部同窓会副会長
の志田洪顕さん、事務局長の蔭
山昌弘先生、そして奥沢前関東
同窓会長夫人の八重子さんなど。

定刻十二時、いつも
のように雨宮明生さ
ん(68期)の司会で
黒田秀幸会長の活動
報告やら、杉本先生
の母校の近況やらの
総会が終われば、い
つものように飲みか
つ語る懇親会がいつ
果てるともなく……。
いつものようでない
のは89期の山崎真
紀子さんはじめ若い
仲間が増えたことで
した。これから先の
「江ノ島会」にとっ
て心強い限りです。
来年は九月三日、
ご隠居さんもそうで
ない方も「江ノ島・
恵比寿屋」に集まり
ましょう。



静高に関するニュースを
お寄せください。

関東同窓会事務所は、弁護士
の野方重人事務所に間借りして
おります。電話は03・3251・
2348 FAXは03・32
57・0820

遥かなる静中の思い出

54期 林 進

私が運動場側にあった独立棟の一年生の教室から、本館一階北側の二年の教室に移った冬の一日は、私にとって生涯記憶に留まる日となった。

その日は一年にたまに地表を白く染める程度しか降らない雪の少ない静岡では見慣れた程度を遥かに超える二十年ぶりとかの大雪で、私たちの教室の南側の中庭は三十糎もの雪が入った大きな白い枡のように思える雪の降りようで、忘れ得べくもない景色を背景に持つ昭和十年二月二十六日（後に二・二六事件と呼ばれた）は、後々まで深く私の脳裏に刻まれる事となった。

その朝は新聞もなく、当時数少なかったラジオを聞く暇もなく、大雪の中を苦勞して学校に来ると、皆が今日東京で大事件があった模様で、そのためラジオの放送が中止となったのを知った。

静岡では稀有の大雪と後の世に大きな影響を残した青年将校たちのある種のクーデターで、昭和の時代に生きた我々には考えられぬ事件であり、まだ若かった私の心に少なからぬ影を落とし、後に昭和維新の思想に深く

感銘する端緒となった忘れ難いものであった。

然し第二学年にこの教室での暮らしで私に忘れられず、また私の将来に少なからぬ影響を及ぼした出来事がもう一つあった。それはこの年与えられた作文に、私は母親に頼んで見に行った大好きな猛獣映画、日本語の名前は何か忘れたのに、今でも覚えている英語名の Bring them back alive（私を後に別の動機から動物文学の愛好家にする端緒となった）のことを何か書いたことしか記憶にないが、問題は私の件ではなく、後に作品のプリントが配られ、これを読んだ私の記憶に鮮明に残った一文に出会った。

それは先頃他界された村松正規君の書いた飛行機の離陸時の事故（現在でも航空事故発生件数の最多を占める）を扱った彼の作品『アクシデント』、この後彼は暫く「アクシ」と呼ばれていた―は彼の飛行機に対する少なからぬ造詣に感銘を受け、私も小学校の頃から空への仄かな憧れから飛行機に対する知識はかなり持っていた心算が霧の中に先行者を見る思いがし、今にして歩んだ道を省みると、私を将来、空へ導いていく変速の動機とになった忘れがたい読み物であった。

このことはその約十年後に私が学徒動員で浜松の第七航空教育隊で二等兵の機関工手（航空エンジンメカニック）訓練の時期に、隣の中隊の教官で来ていた彼が偶然にも会いに来てくれ、私が兵隊のとき会った唯一の同級生と二重の偶然となる不思議な縁が繋がっていた。

今振り返ると私の記憶に強烈に残っている飛行機に関する出来事がもう一つある。

それは思い出多い二年の教室を出て三年後の昭和十三年に安倍川河口での通称92式超重爆（陸軍の正式名は92式重爆撃機）と93式超重爆機による爆撃演習見学を予告された時の興奮は今でも忘れ難いものであった。

93重爆の姿を自分の目で
拝むことができた

当時93重爆は写真や資料等も公表されていたが、92の超重爆は翼内を立て歩けると密かに言われていた、もの凄く大きな爆撃機と言われ（当時は物の例えと思っていたが後年それは事実で三菱で製作されたドイツ機のコピーであることを知った）

それを知る資料や写真等は無かったのだ、その姿を拝めるのみならず爆撃まで見られる千載一遇の機会を抑えがたい興奮と期待でその日を待ったのを今でも覚えてる。

当日はよく晴れた日で学校か

ら安倍川の河口近くの左岸の観測場所まで来ると河口には爆撃の標的として小屋が建てられていたのが千五百メートルほど先に望遠された。待つほどに大小2機の飛行機が西の浜松方面より飛来したが、馬鹿でっかいと言う先入観が距離と高度のために意外と小さくしか見えず、超重爆は私の目視に想像を加味して得た外観は飛行機の通念から外れた特異な形状をした飛行機であったのを覚えている。

二機で高度三、四千メートルくらい（？）で何回か右旋回しながら反復水平爆撃を行ったが、目標に今言うピンポイントで命中させることなく私の微かな残念な思いを後に浜松に帰って行った。小屋は暫く後で爆破されたのを記憶している。精密な爆撃照準機器による爆撃技術で的確な範囲に着弾するようになったのは、その後半世紀以上も経ってから後のことであった。

この後しだいに大きくなっていった飛行機を取り巻く潮流に乗って私の人生は動いていったが、終戦はこの流れを唐突に遮断し、その多くの構成要素もろとも車を中心とした潮流へと大きく変えていった。私の小学校に芽生え、静中時代に加速された飛行機への憧れは青年時代の大半を占めた実際に飛行機に関わった時代の忘れ難い数々の思

い出とともに自動車をコアとする潮流に身を投じ、人生の終点まで自動車屋としての道を歩むこととなった。

静中で過ごした多感な青春の五年間の数々の出来事はその時々では明確な印象として残ったものも、今は巡りいく走馬灯のように過ぎ去り、やがて忘却の彼方に消えていってしまった。

帰静した折、

気楽にいっぱいできる店

両替町の和食の「車」

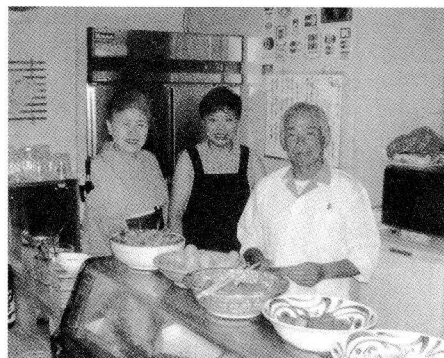
静岡も夜になると閑散となりゴーストタウン化が進んでいるが、唯一活発なのが両替町。その両替町二丁目にある割烹というより小料理屋と呼んだほうがいい『車』。渡辺尚さん（77期）のファンです。野球部が甲子園で準優勝した昭和三十五年以来の静岡最盛。当時4番バッターとして活躍した猛者ですが、礼儀正しい紳士です」と話す女将の松下きみさんは和服の似合う美人。

三兄弟で営む店は弟さんの勇さんが板長で季節の美味を切り分ける。そして末妹のしげ子さんが接待を担当。カウンターに八人、小上がりに十人ほど入れば満杯になる店だが、それだけ家族的。

店のモットーが「心暖まる料

理・そして会話」というように家族的雰囲気です。迎えてくれる。

TEL 054・252・8646



近況報告では体調の話題も暗くならない程度ならOK

64期 塚本 光彦

静中・静高関東支部64期同窓会が例年通り七月七日、七夕の日に東京J.R.田町駅そば酒庵道灌かがりにて開催された。

静岡本部より新64期同期会長海野安弘君はじめ木村昭雄君の御出席を得て総勢24名、定刻十七時三十分賑々しく開宴。

まず新会長より就任への経緯がユーモアたっぷり報告され、最近一年間の物故者が十三名にも達しており、健康に充分注意され、来年も元気な姿で再会できるよう期待する旨挨拶。

久しぶりに元気な姿を見せた

稲見章君の乾杯で宴が始まる。本年も静岡在住の石原良昭君より「黒はんぺん」の差し入れがあった故郷の味を賞味し感謝・感激。

飲食が一段落したところで恒例の各自の所見、近況報告となり、病気の類は恒例で除くことになっていたが、本年は年齢を考慮してか、暗くならない程度にして制限なしとなる。

全員が七十四〜七十五歳の初老に達し、経営者の後継者育成と引退、百歳近い親の介護、本人、妻の癌、習慣病、体力衰退の諸問題。

興味を引いたのはクールビズ、年齢を感じさせないゴルフ奮闘記、二〇〇六年飛鳥アジアグラインドクルーズ乗船予定、孫のサッカーJリーグ戦への期待、日・中関係の改善には歴史教科書の真実に基づくよう改訂等。

特に注目を浴びたのは杉本哲君の同期の友、ブラジル在住の近藤博之君を今春訪ねた旅行美談。

近藤君は一九五四（昭和29年）早稲田大学卒業後ブラジルへ渡り活躍中。二年ほど前、長男を交通事故で亡くし失意の底にあった杉本君は静中・静高一二五周年記念誌、静中・静高史、高きを仰ぐ、回想静岡中学を送り訪ね激励した。

宴たけなわの時、忍びなかつ



たが静岡への新幹線時刻を考慮し、二十時三十分頃全員起立し、校歌を斉唱し、来年七月七日七夕の日に再会を期し閉会。

3桁スコアが大勢で情けないやら悔しいやら秋のゴルフ会

64期 永田 進一

去る十月十一日、第42回関東・静岡合同ゴルフ会を、御殿場の足柄森林カントリークラブにおいて開催した。

本州南岸沿いに秋雨前線が停滞、前日まで降り続いた雨も上がり、曇り空とはいえ朝から雨も降らず絶好のゴルフ日和となり、ゴルフ好きの精鋭十五名（関東地区五名、静岡地区十名）の参加で、相変わらずの静岡弁で楽しい一日を過ごした。

皆年齢とともに早起きが苦にならなくなったせいか、集合時間より早く集まる傾向になり、小学生も早めに家を出たつもりが、途中の渋滞と初めてのゴルフ場のため、案内板を見落とし道に迷い集合時間ぎりぎりに到着、すでに全員集まっており、スタート時間には間に合い何とか迷惑をかけずにすんだことは幸いだった。

最近では関東方面、静岡方面の中間の御殿場近辺で、なるべく平坦かつ乗用カーを備えたコースがよいと注文も多く、今回は佐野旭君の尽力で足柄森林カントリークラブにて行うことができた。

優勝は66期の森山秀夫君。だんだん少なくなった64期のメンバーの中に無理にお願いして参加してもらっているが、今回二度目の参加で優勝、ハンディが甘かったからと本人の弁であったが、ネット72のパープレー、さすがに在学中、野球部で華麗なプレーを見せてくれた昔の姿を彷彿させるものがあった。

二位は前回優勝、前回ブービーと出入りの厳しい小川哲司君。優勝の森山君と同グロスながらハンディ差で準優勝に甘んじた。三位は漆畑茂君、そして栄えあるブービーに輝いたのは、前回腰を痛めて欠席の石原良昭君。今回十五名の参加で受賞者は全員静岡勢、次回関東勢の奮

起を期待したい。

またベスグロは今回も風間政彦君だった。成績はハンディ4のため四位だが、グロス88は弁当持参で練習場に通う努力に頭が下がる。アウトの39は圧巻、近いうちにエイジシュート達成するのではないかと思う。

十五名中2桁グロスだったのはベスグロの風間君と伊藤剛君の二名だけ。残り十三名は3桁で、七十歳台半になると各々飛距離も落ち、若かりし頃の面影も薄れて悔しいことひとしお。またコースは最新鋭の乗用カーの導入で、ホールごとにコースレイアウトとボールの位置からグリーンまでの距離が表示されるナビがつき、残り何ヤードと示される。しかしその距離通り打てないのが情けなく思った。



今回参加者は、上記森山、小川、漆畑、風間、石原諸兄のほか、野沢正憲、時田勝博、井上公司、伊藤剛、漆畑輝夫、大石次男(61期)、佐野旭、永田進一、村上喜代二、村松政雄の諸兄。関東地区で今回参加できなかった岩本吉雄、新井彰、塚本光彦、蛭川博之、増田誠男、望月坦、山本和彦の諸兄も次回には参加できるように身体に留意されることを祈ります。

静岡市役所の

東京事務所が活躍中

「静岡市民にとって東京は人が多く、雑踏ばかりで住みにくそうですね。でも何か分らないことなど相談にも乗れます」と、最近静岡から赴任してきた気田敏弘さん。静岡高100期の好青年、まだまだ東京では新参もののやる気十分。本来の業務は、静岡が政令都市になり、中央省庁との折衝をより強固にしないてはとこのことで張り切っている。

事務所は千代田区平河町の日本都市センター会館にあり、静岡人のネットワークづくり、出身議員との連絡など。

☎03・3556・0865

朋あり遠方より来る

56期同期会

清水 逸郎

平成十七年の関東地区同期会は、十月十八日(火)十三時から三時間、公務員共済の「ホテル東京」で開かれた。出席者は青木良文、川崎博、小菅正紀、清水逸郎、竹佐太一、成田六郎、西脇光夫、萩原達夫、牧大勝三。それに静岡から山田勝也君が駆けつけてくれたので、参加者は昨年より三名多い十名になった。

悲しいことには、この四月に杉原泰二君が亡くなった。彼のご冥福を祈って黙祷を捧げた。このように旧友がポツリポツリ欠けていくのは淋しいことである。懇談は、萩原君の挨拶と彼の音頭による乾杯で始まった。



最初に山田君から静岡の現状についての話があった。それに続く話題はお互いの老齢化による身体各部の問題点であるが、それにつけてもこうしてこの会に出席して話し合えるのはまことに幸福なことであると喜び合った。

牧大君は、今年は美しい篆刻した論語の名句を配布してくれた。その中の学而第一にある

「朋アリ遠方ヨリ来ル

亦楽シカラズヤ」

は、この会に最も相応しいものである。

話は弾んで予定の時間はすぐ終わり、今後のことについて相談した。これからはたとえ出席者が少なくなっても、希望者がいる限り続けようということになり、来年も十月の第三火曜日(十七日)に同じ場所と同じ時間に開くことを約束し、記念写真を撮り、岳南健児を高唱して散会した。

78期同期会報告

地震の巣は漣雲(さざなみぐも)の下にあり

小林 勝弘

残暑というよりも、真夏の暑さの続く十月一日、神楽坂の日本出版クラブ会館に、静岡から参加の三名を含み三十七名の元少年、少女が集いました。

皇太子(現天皇)の結婚、日米安保、所得倍増運動、そして高度成長の始まり等の社会の大きな動き、母校の甲子園での活躍。夢多い青春の日々を送った私たちも還暦を過ぎ、多くが社会への責任から離れて自由の身を楽しんでいます。

今回の同期会では、世界各地で巨大な地震の発生が伝えられ、首都圏でも直下型地震が話題になっていく昨今、「地震予知」を主題に、地震学者の宇田進一君に講演をお願いしました。

同君は東北大学理学部卒業、長年地質探査に携わってききました。最近では地震予知についてのテレビ出演も多く、同窓会員の多くの方がご承知のことと思います。わずか三十分という制約された時間でしたが、資料をプロジェクトターを使ってのお話しでした。500(ログ・対数)などという四十何年の眠りを覚ますような言葉もありました。

講演の中で同君は衛星船が捉えた特異な雲の写真と震源の位置に着目して、外国の地震を含め、多くの例を精査しました。

特異な雲とは、縦に長い帯状で隣の雲との間が十数キロ、井の頭線の渋谷・吉祥寺間ほどの距離を置いて連なるもので、その形状から同君は「漣雲(さざなみぐも)」と名付けました。

神戸の激震を始め、過去十余

年の世界の大地震が発生するかなり前に、震源付近にこの漣雲が見られることを突き止め、この観測体制を整えれば地震の予知が十分に可能ではないかとの話でした。ただし、この漣雲は雲と雲との間が余りに大きいため、地上からは確認できないということです。

聴講生一同、神妙に話を聞き終わり、空を見上げましたが一点の雲もない青空でした。

その後のパーティでは野桜君よりの山葵漬けと黒はんぺんに話がはずみ、心持ちは十七、十八歳の少年、少女に戻りました。この一年、惜しくも鬼籍に入った二君への黙祷を捧げ、一同健康に留意し、来年の会では黙祷のないことを約して散会しました。しかしいまだ元気はむかしのままで、二次会から次へと、結局四次会まで行ったのです。



切り抜き写真は宇田進一君

今年の関東七夕会は七月九日 四十三人が参加、新宿で開催 シリア土産を取り合っ

77期 松井 義之

昨年と同様、新宿のパブ「アフター6」で開催。夜はパブになる場所だけに、店内の内装は豪華な椅子やテーブルなどゆったり。ちょうど四十人が入れるスペースも静岡から望月浩や宮崎一らが出席、やや混雑した同期会になった。

同僚の松永秀夫がシリアにいるうちに訪問しようと出かけ、2週間余りの海外旅行の疲れも見せずの女性団がそろって出席。後藤、大村、藤井、飯島の諸嬢に加え、最近では東京暮らしが多いという五島さんも参加、大いに盛り上がった。



シリアからわざわざ持ち帰った二十ものお土産も振舞われ、また「土産を買ってくるだけでも大変でしたよ」と女性団。でもこの関東七夕会を盛り上げるための演出。三浦位通、清水雅尚ら、さらに松井義之など、普段から七夕会をいいものにしようとしてシリア旅行に便乗したもの。

「シリアの土産といっても何だか分からず、結局松永さんに頼んで買っていただきました。でも四人で持って帰ってきたのです。それでなくても女性性は荷物が多いのに」と大村。それだけでなくともふくやかな体で日本の海やプールで泳いでも浮き気味、その体で死海に行つて泳ぎ「もっともっと楽に浮きました」ことをも話していた。

その後、彼女たちのお土産をあみだくじで抽選会を行い参加者の多くに分け与えていた。

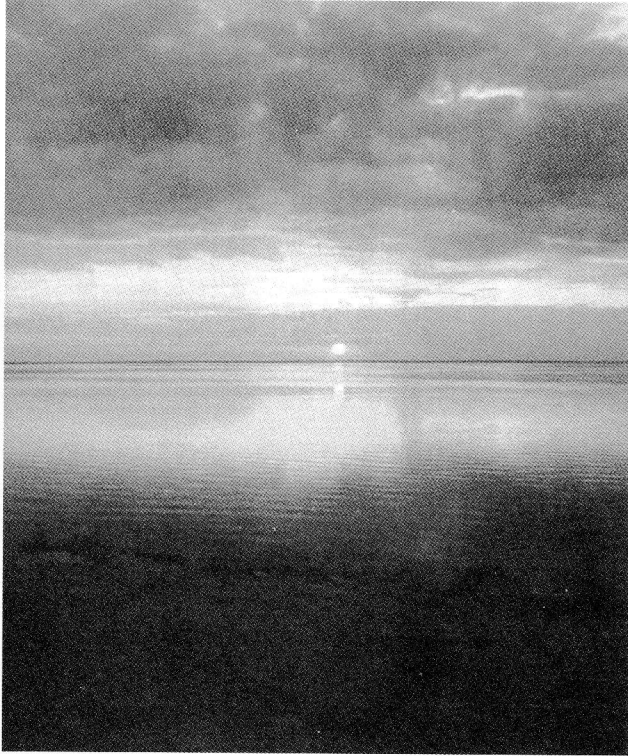
シリア旅行をしました

その松永秀夫からシリア国内を旅行したというメールが野方副会長へ届きました。

シリア系の首相が暗殺された事件は現地でもTV報道されたが、小競り合いのデモはあるが大きな事件にならず至って平穏。ところで最近ユーフラテス川沿いに点在する遺跡見物にいつてきました。二点ばかり紹介しましょう。

写真の⑤地中海沿岸のローマ時代の城壁、

⑥ユーフラテス川をせき止めたアサド湖の夕景



編集後記

▽一年に二度、秋と春に発行している会報も、会員の皆様の寄稿が十分でなく、今回は12ページになってしまいました。少しさびしい感じがします。

▽ふだんから静岡、静高に関することを捜し歩いているのですが、いざ記事にしようと計報ばかり。前向き、楽しい話題をお待ちします。(以上・村松)

▽先日電車で箱根に行ってきました。普段車でしか行かない箱根は、道路沿いに紅葉する木が少なく紅葉だよりと聞いてもピンとこないところでした。しかし歩いてみると、いいところがあるものです。なかでも蓬萊園の庭は見事な紅葉でした。同行した一人が「なんだい、ハッパを見てみようがないじゃないか」と言うのを聞いて、なるほどと思う反面、何を不粋な！と驚きあきれたのでした。

(77期・清水雅尚)

▽会報のあて先管理をしております。関東の会員は出入りが多く住所不明で戻ってくる会員がいます。お手数ですが、ために住所変更をお知らせください。

(80期・吉野卓史)

鈴 与 株 式 会 社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

静岡市清水区入船町11-1
TEL 0543 (54) 3015 (秘書課)

京浜支店 東京都港区芝公園1-2-12
TEL 03 (3432) 7152

日本レーベル印刷株式会社

代表取締役 岩井平一郎 (57期)

本 社 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号
TEL 054 (262) 1111(代)

東京支社 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F
TEL 03 (3272) 4651 (代)

株式会社 富士越化成

代表取締役 野澤正憲 (64期)

東京都品川区南品川2-17-11
TEL 03 (5783) 3841
FAX 03 (5783) 3755

自動車・火災・傷害保険 大 高 保 険 事 務 所

代 表 清水雅尚 (77期)

東京都渋谷区東3-15-8
TEL 03 (3406) 9350
携帯 090-7800-3767

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〈事務所〉
〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
藪下ビル6階
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820

昼2時より夜11時まで診療 タカラ歯科診療所

代表 ^{フラ シナ アキ オ} 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)
OSAMU TOSU

〈事務所〉
〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848
E-mail: tosu@mtj.biglobe.ne.jp

調剤薬局……首都圏中心に60店舗

株式会社 アイセイ薬局

健康と幸せを願って

代表取締役 岡村幸彦 (93期, 応援指導部)

東京都中央区日本橋蛸殻町2-14-5
TEL 03 (5651) 7200
<http://www.aisei.co.jp>

東京無線タクシーグループ 公和自動車交通株式会社

東京都新宿区東五軒町3-3 ☎03-3269-3281

都心のオアシス・ゴルフ練習場 (株)公和ゴルフセンター

大江戸線・若松河田駅隣り ☎03-3202-6558

代表取締役 山中博司 (73期)

限りある国土利用に 貢献する

株式会社 芝工設

専務執行役員
田畑秀典 (82期)

〒105-0013 東京都港区浜松町1-16-5 芝ビル
TEL 03-5777-2315

取扱い工法

テールアルメ工法
補強土壁工法
軽量盛土工法
地盤改良工法